



大空を舞う鯉のぼり

伝統行事

源平谷池に鯉のぼり

夢を乗せて

子どもたちには夢を
大人同士は繋がり



20年以上続いた伝統行事
子どもたちより大人が笑顔になった

「鯉のぼりが復活して子どもたちに楽しんでもらえたことが一番ですが、大人同士顔を合わす機会が増えたことが何より嬉しいですね。辞めていた期間があったから改めて地域の繋がりは大切だと感じました」と住山さんは笑顔を見せた。「時代もどんどん変わってきています。若い人たちに上村を盛り上げてほしいと思います。僕たちは陰で見守りながら支えていきたいと思っています」と岩田さんは話す。これから上村地区の皆さんがつくる未来は明るい。

3年ぶりに源平谷池に泳ぐ鯉のぼり。上村夢クラブの会長を務める住山真一さんは「3年ぶりに揚げたので、苦戦したところがありました。若い人たちが子どもたちにも知ってもらえるいい機会になったかなと思います」と話す。上村の鯉のぼりは約30年前に、上村地区を盛り上げたいと始まった。創始者の岩田仁さんは、「作業は地域でできる人を頼り、鯉は譲ってもらおうという人々に声を掛けたところから始まりました。30年も続けられたのは嬉しいですね」と話す。「鯉のぼりが復活して子どもたちに楽しんでもらえたことが一番ですが、大人同士顔を合わす機会が増えたことが何より嬉しいですね。辞めていた期間があったから改めて地域の繋がりは大切だと感じました」と住山さんは笑顔を見せた。「時代もどんどん変わってきています。若い人たちに上村を盛り上げてほしいと思います。僕たちは陰で見守りながら支えていきたいと思っています」と岩田さんは話す。これから上村地区の皆さんがつくる未来は明るい。



鯉の片付けは最後まで



できる限り修繕して使う



上村夢クラブ住山真一さん

空と山に映える鯉のぼり

天高く

空と山風になびく
新たな
山之内の鯉のぼり

豊かな山の中で風に揺られる鯉のぼり。山之内の鯉のぼりは以前は除ケの堰堤に揚がっていましたが、3年前から山之内キャンプ場のグラウンドに揚がるようになりました。今年5月上旬に地域の人たちなどによって鯉のぼりが揚がりました。鯉のぼりは全て市内外から譲り受けたものです。山之内地区の1年の大きな行事として続けていきたいと地元の方々の思いもあり、グラウンドに揚げるようになりました。鯉の

ぼりを譲ってくれた人が見に来てくれて喜んでいただけ、やつてよかったと感じています」と山之内地区に住む鈴木ヤエ子さんは話します。「始めは鯉のぼりは堰堤の吊し方と違うので悩みました。以前は鯉のぼりの中に竹を入れていましたが、グラウンドに揚げるようになって竹を外すことにしました。風になびく鯉のぼりもいいものですね。鯉のぼりを見に訪れた家族は、笑顔で写真を撮る。鯉のぼりを準備するとき、下に降りてきた鯉の

ぼりを子どもたちが触っているのを見て、こんな風景が見れるのもいいなと感じました。山之内の鯉のぼりは皆さんに長年楽しまれてきたものなので、これからも続けられたらいいなと思っています」と笑顔で話した。

